

第46回議会運営委員会会議記録

- 【開催日】 平成27年9月16日(水)
【開催場所】 第二委員会室
【開会・散会時間】 午後4時15分～午後5時30分
【休憩時間】 なし
【出席委員】

委員長	大井 淳一郎	副委員長	石田 清廉
委員	河崎 平男	委員	下瀬 俊夫
委員	矢田 松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
傍聴議員	河野 朋子		

【事務局出席者】

事務局長	古川 博三	事務局次長	清水 保
主査兼議事係長	田尾 忠久	庶務調査係長	島津 克則
議事係主任主事	原川 寛子		

【付議事項】

- 1 平成27年第3回(9月)定例会に関する事項について
- 2 議員任期2年経過に伴う対応について
- 3 12月定例会の日程調整案について
- 4 その他

【議事の概要】

- 1 平成27年第3回(9月)定例会に関する事項について
 - (1)一般会計予算決算常任委員会附帯決議について
・一般会計予算決算常任委員会から提出される委員会提出決議案(議案第67号の附帯決議)についての採決方法を確認した。
 - (2)委員会提出意見書案の上程について
・総務文教常任委員会から「地方財政の充実・強化を求める意見書」、民生福祉常任委員会から「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」が提出される。本会議にて上程し、即決する旨、了承した。
 - (3)議事日程変更案について
・9月定例会最終日の議事日程変更について確認した。
・下瀬俊夫委員から「一般会計の修正案が出されたら議事日程の追加となるのか」との確認があった。

- ・事務局から「一般会計の委員長報告の中で修正案として出てくるので、議事日程の追加とはならない」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「議運はもう開かないのか」との確認があった。
- ・事務局から「議運を開き、修正案提出の話をするようになる」との発言があった。

2 議員任期2年経過に伴う対応について

- ・事務局から議員任期2年経過したことに伴って10月臨時会で改選を行う監査委員等の各種委員について説明した。詳細は別添資料のとおり。
- ・矢田松夫委員から席順の変更について質問があり、臨時会時の全協にてくじ引を行うことを確認した。
- ・特別委員会については広報広聴特別委員会のみ改選を行うこととした。
- ・大井淳一郎委員長から「広報広聴特別委員会の人数については議長と委員長とで検討したい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「特別委員会の中で人数も含めた今後の在り方を決めていくべきだと思う」との発言があった。
- ・事務局から「特別委員会の委員長と部会長の意見も聞きながら構成を決めたほうがいい」との発言があった。
- ・事務局から「常任委員及び議会運営委員の選出届について調整のため23日ではなく16日を期限としたい」との発言があった。
- ・同じ委員が選出される場合もあるが、全ての委員について辞任届を出すことを確認した。

3 12月定例会の日程調整案について

- ・12月定例会の日程調整案について説明し、了承した。日程の詳細は別添資料のとおり。

4 その他

(1) 議会運営委員会の開催日時について

- ・10月26日(月)午前10時から
- ・一般会計予算決算常任委員会から修正案が提出された場合は9月28日の午前9時から議運を開催する旨、確認した。

(2) 全員協議会の開催日時について

- ・9月28日(月)午前9時15分から
- ・10月30日(金)午前9時から

(3) その他

- ・大井淳一郎委員長から「議運の視察を全議員対象の議員研修会等に生かしていきたい」との提案があった。
- ・下瀬俊夫委員から「今年度末までに議会基本条例の検証、改正作業を行うとなると日程的に難しいのではないか」との発言があった。
- ・事務局から「できる部分から改正するというのも一つの手である」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「全体ではなくポイントを決めて重点的に検証を行ったほうがいいのではないか」との発言があり、その旨確認した。

- ・矢田松夫委員から「自己評価のチェックは最終的に誰が行うのか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「全議員から意見をもらう場を設けていきたい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「研修等を行い自己評価の共通認識を持ったほうがいい」との発言があった。
- ・石田清廉副委員長から「今回はとりあえず自己評価をして、課題や目的意識を持つことが大事で、次にステップアップしたらいいのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「議会基本条例を見つめ直すために自己評価は必要であるので、今後やり方について詰めていきたい」との発言があった。
- ・河崎平男委員から「審議日程、委員構成など一般会計予算決算常任委員会の検証をしてはどうか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「委員の負担は感じているが、一般会計予算決算常任委員会の中で在り方について協議していただきたい」との発言があった。
- ・河崎平男委員から「一般質問について担当委員会の質問はしない、重複する質問は事務局長が調整するという理解だがどうか」との質問があった。
- ・事務局から「所管の委員会の一般質問は控えるという申合せはなく、議案の質疑については申合せ事項にある。重複する質問についてはお知らせしているが、切り口が違う場合もあり調整まではしていない」との発言があった。
- ・河崎平男委員からタブレットの持込みについて質問があった。
- ・事務局から「携帯、タブレットの持込みは許可していないので、指摘の案件については議長が注意した」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「一般質問での市長の発言は議会にいじめがあったように市民から受け止められるもので、また公判に関わることを公の場で発言しており、許されない。議会から何らかの対応をすべきだと思う」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「抗議文を出すことが考えられるがどうか」との発言があった。
- ・石田清廉副委員長から「注意的な文書は提出すべき」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「議事録の抹消を求めるべき」との発言があった。
- ・河崎平男委員から「本会議場での訂正、議事録の抹消を」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「訂正を求めても多分市長は訂正しない。抗議という形にしたほうが議会としての姿勢を示せるのではないか」との発言があった。
- ・事務局から「手紙を引用したことについて訂正を求めることは、一般の人より情報公開の面で開かれた公職なので難しいのではないか。一方的に議会にいじめがあったような発言をしたことについて抗議なりができるのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「一方的な手紙の内容だけを見て議会のいじめのせいで覚醒剤に走ったという短絡的な発言が問題であるので、抗議文を出す。それを受け市長が議事録の削除を行うならそれでいいのではないか」との発言があった。
- ・河崎平男委員から「本会議で抗議するほうがいいのではないか」との発言があった。
- ・事務局から「本会議での訂正ではなく、議運だけでなく全部の議員にも諮って抗議文のような文書を出したほうがいい」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「全員協議会の場でやったらどうか」との発言があった。

・事務局から「市長自身が全員協議会に出てこないのではないか。全協で諮った中で議長と議運の委員長が市長のところを持って行って議会としての考え方を示す形がいいと思う」との発言があった。

・9月17日午前9時の議運で市長へ提出する文書案を検討し、本会議終了後に一般会計予算決算常任委員会、全員協議会、企画広聴部会を開催することとした。

平成27年(2015年)9月16日

議会運営委員会委員長 大井 淳一郎